

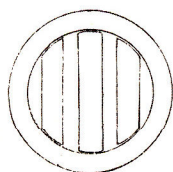
解答例

伊達政宗画像は、政宗没後40年たって、供養のために制作されたと考えられています。正装の東帯そくたい姿で上畳すがた あげだたみに座した、初代藩主政宗が描かれています。著名な画家に注文して、高級で大きな絹地の画面に、様々な色の絵具を用いて描かせたこの絵は、多くの費用と手間をかけた本格的な肖像画といえます。

1. ウ (たて143cm×よこ114.9cm 模造紙2枚分くらいの大きさ)
2. イ
3. 親からいただいた大切な体なので、自分の絵を描くときは両目を入れるようにと、政宗が生前に言っていたから。
4. ウ
5. a 馬 b 白髪 c 天

学芸員に…… 聞いてみよう!

- 生徒: スタディシートをやりながら伊達政宗画像を見ていたら、絵の中に伊達家の家紋が描かれていることに気づきました。九曜紋の他にも伊達家の家紋はあるんですか?
- 学芸員: 伊達家の家紋は8種類確認されていて、よく目にするのが、三引両紋と竹に雀紋、それに九曜紋だね。つまり、スタディシートの問い4にある3種類の家紋は、すべて伊達家の家紋なんだね。
- 生徒: 三引両紋って、どこかで見たことあるような……。
- 学芸員: いいところに気づいたね。下の2つの紋章を見てごらん。左が三引両紋で、右が仙台市のものだよ。君が言いたかったのは、きっと仙台市の紋章だね。
- 生徒: そうです。今日はよく晴れていたなので、博物館に入るとき、正面玄関前の広場で、このマークの旗が風になびいているのが見えました。
- 学芸員: 仙台市の紋章は、昭和8年(1933)に制定されたんだ。伊達家の三引両紋をもとに、「仙」の字を図案化したそうだから、両者をよく見比べてみよう。



三引両紋



仙台市の紋章